



議会だより

かたしな

発行 片品村議会

No. 144

2015. 4. 15

萩原 一平さん



大塚
ジャイアントスラローム競技成年男子B
第4位

笠原 千裕さん



クロスカントリー競技成年女子B
優勝

飯塚 剛さん



クロスカントリー競技 リレー成年男子
第4位

横坂 直樹さん



少年
クロスカントリー競技リレー少年男子
第7位

大竹 凜さん



ジャイアントスラローム競技成年男子A
第7位

千明 龍之介さん



少年
クロスカントリー競技リレー少年男子
第7位



～2015ぐんま冬国体～

入賞おめでとうございます,片品村の選手たち!

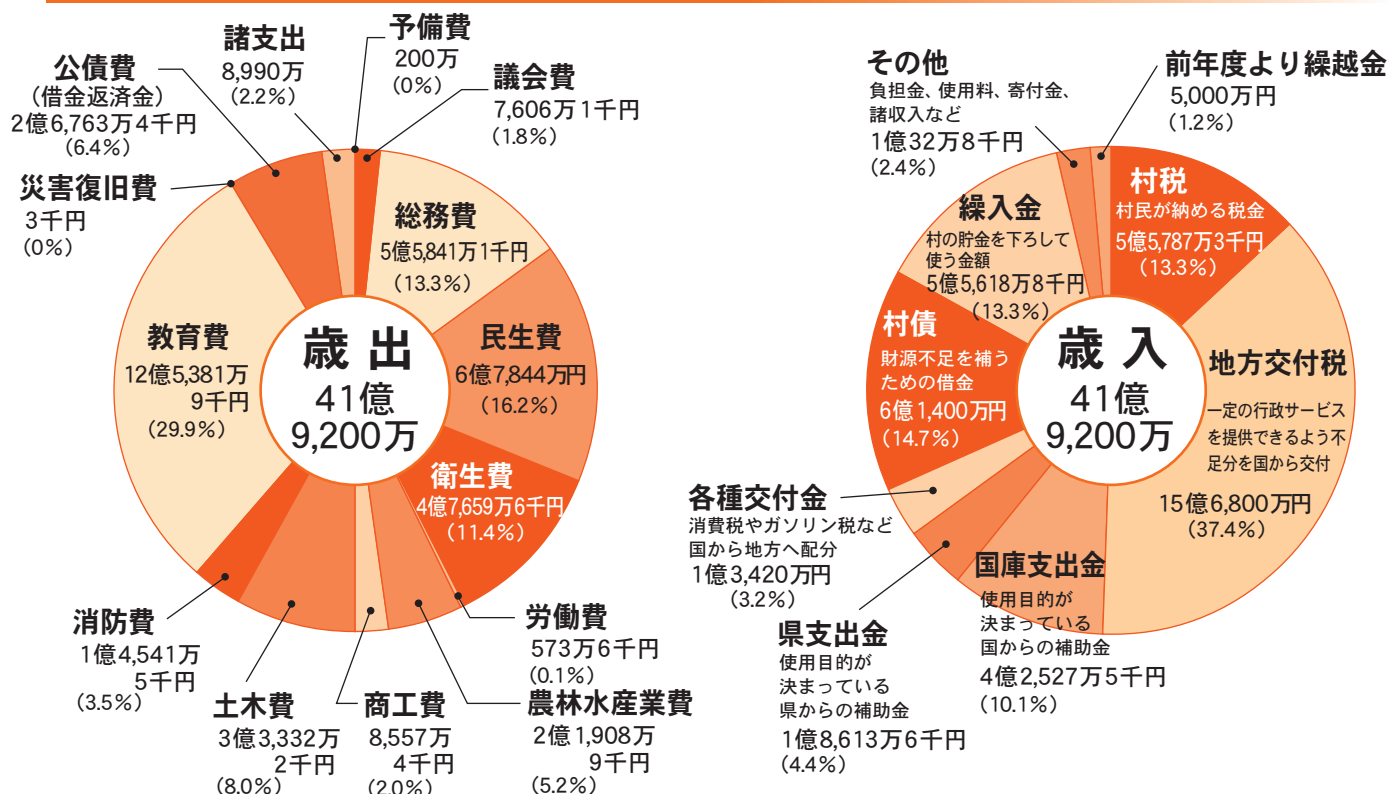
主な内容

- ◆平成27年 第2回定例会(3月議会)…………… 2～4
- ◆都市との交流を進める特別委員会報告…………… 5
- ◆一般質問(2名)で村政を問う、各委員会審査…………… 6～9
- ◆国体応援、片品村婦人会との意見交換会…………… 10
- ◆村民の声、議会活動…………… 11～12

3月定例会で決まったこと

平成27年第2回片品村議会定例会（3月議会）を3月5日から13日までの9日間にわたり開催しました。平成27年度当初予算をはじめ、条例の改正や指定管理者の指定、平成26年度補正予算、などが提案されました。議会は、予算説明会、各常任委員会と本会議での審議のうえ、全ての議案を全員賛成で可決しました。

平成27年度一般会計予算



平成27年度特別会計予算

(単位：千円)

会計名	予算額	前年対比(%)	一般会計繰入金	備考
国民健康保険	921,470	108.6	108,784	
簡易水道事業	82,200	93.6	9,238	
観光施設事業	100,986	98.8	89,900	収益的収入のみ
介護保険	526,915	103.9	76,611	
下水道事業等	86,398	71.1	64,471	
後期高齢者医療	58,678	100	23,143	
合計	1,776,647	102.9%	372,147	

継続費

(単位：千円)

款	頂	事業名	総額	年度	年割額
教育費	小学校費	片品小学校新校舎建築費	1,144,800	平成26年度	345,930
				平成27年度	798,870



ワンポイント解説

【継続費】 経費の総額及び年割額を定め、数年度にわたって経費の支出ができる予算の定めです。

議会から見た一般会計当初予算の平成27年度予算の目玉

歳入

国より

○社会保障財源交付金 (消費税5%から8%になった3%部分の交付金)	800万円
○地域おこし協力隊経費	1,800万円
○公立学校施設整備費国庫補助金 (片品小学校統合)	4,387万円
○学校施設環境改善交付金 (片品小学校建設費、H27年度分)	2億138万円
○スクールバス購入費 (H28年度より運行予定、9台分)	2,313万円
○社会保障番号制度システム整備費補助金	921万円
○橋梁長寿命化対策工事交付金	4,550万円
○農村地域防災減災事業国庫補助金 (鎌田温水ため池測量調査業務)	440万円

県より

○千客万来支援事業補助金	500万円
○緊急雇用創出基金事業補助金	567万円
○県知事選挙委託金	429万円
○県議会議員選挙委託金	278万円

歳出

○社会保障番号制度システム整備費他	1,171万円
○県知事選挙費	672万円
○県議会議員選挙費	448万円
○村議会議員選挙費	669万円
○下平児童館解体費 (築35年を経過したため)	695万円
○橋梁整備費(細工屋橋設計委託料他)	1,850万円
○橋梁長寿命化対策工事他	7,000万円
○鎌田温水ため池測量調査事業	450万円
○地域おこし協力隊(賃金・住居費等)	1,800万円
○緊急雇用創出基金事業委託料	567万円
○片品小学校建設費(H27年度分)	7億8,700万円
○小学校記念誌補助金	400万円
○スクールバス11台購入費用 (H28年度より片品小学校、片品中学校への送迎バス)	6,750万円
○片品中学校改築工事のための設計委託料	3,240万円
○文化財保護事業 (建物修繕、看板、資料整理等)	1,130万円
○児童福祉扶助費 30万円×5名=150万円 (第3子以降の出産祝金)	
○摺削・花咲鳥獣害対策事業委託料他	500万円
○住宅リフォーム補助金	300万円
○登山道整備費	127万円

人事

【議会同意】
人権擁護委員に

入澤 眞理子 氏
(越本)

第1回臨時会

1月29日、第1回臨時会を開催。
同意1件について、原案のとおり
全員賛成で可決しました。

片品村副村長の選任について

木下 浩美 氏
(沼田市)

平成27年2月1日から

陳情審議結果一覧表

3月定例会において審議された陳情は、
下記のとおり決定しました。

受理年月	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
平成27年 1月23日	「スノーパル・オグナ ほたか」第3クワッド リフトの撤去に関する 陳情書	武尊山観光開発株 代表取締役社長 遠藤 一誠	観光産業 常任委員会	採択
平成27年 2月16日	年金引下げの流れを 止めることを国に 求める陳情書	全日本年金者組合 群馬県本部執行委員長 女屋 定俊 全日本年金者組合 群馬県本部利根支部長 林 マツ	総務文教 常任委員会	採択

意見書の提出

内閣総理大臣に『年金引下げの流れを止める意見書』
を提出しました。

平成26年度 補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後
一般会計(第5号)	52,703	4,460,406
国民健康保険(第3号)	△96,628	794,378
簡易水道(第3号)	9,743	104,680
観光施設事業(第2号)	(収益的収入) 4,901	109,941
	(収益的支出) 31,026	136,061
介護保険(第3号)	△6,642	516,524
下水道事業等(第3号)	△6,941	118,515
後期高齢者医療(第2号)	△2,406	57,110

繰越明許費

(単位：千円)

項目	事業名	金額
総務費	地域住民生活等緊急支援のための交付金事業	94,275
農林水産業費	大規模野菜経営体育成支援事業補助金	10,537
	被災農業者向け経営体育成支援事業補助金	2,243
	林業経営作業道整備交付金	1,140
土木費	村道塗川・幡谷線 塗川橋架替工事	115,280
	塗川橋架替工事 積算及び施工管理業務委託	4,398
	村道新井・伊閑町線 三松橋長寿命化対策工事	85,880
	三松橋長寿命化対策工事 積算及び施工管理業務委託	4,329
消防費	細工屋橋 橋梁補修詳細設計業務委託	17,172
	片品村防災マップ作成業務委託	864

ワンポイント解説

繰越明許費

前年度予算を用途と金額を明らかにして翌年度へ繰り越す費用です。

- ◎片品村議会委員会条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村特定個人情報保護条例 **〔制〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村基本構想の策定等を議会の議決すべき事件として定める条例 **〔制〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 **〔制〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 **〔制〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 **〔制〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村保育所利用者負担額徴収条例 **〔制〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例 **〔制〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例 **〔制〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村行政手続条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村印鑑条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村職員定数条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村特別職報酬等審議会条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村教育長諸給与条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村村税条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村手数料条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村保育所条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎保育児童委託条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村介護保険条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村指定地域密着型サービスの事業の人員設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村小口資金融資促進条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村観光施設事業運営委員会条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村観光施設事業に関する条例の一部改正 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村村営尾瀬ロッジの設置及び管理に関する条例を廃止する条例 **〔廃〕〔止〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村村営尾瀬ロッジ施設利用料徴収条例を廃止する条例 **〔廃〕〔止〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村過疎地域自立促進計画 **〔変〕〔更〕〔全員賛成〕**
- ◎利根沼田学校組合規約の変更に関する協議 **〔一部改正〕〔全員賛成〕**
- ◎村道路線(花咲地内)3325号線 3326号線の認定 **〔認〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎指定管理者(老人憩いの家)の指定 **〔指〕〔定〕〔全員賛成〕**
- ◎片品村新型インフルエンザ等対策行動計画の報告 **〔報〕〔告〕**

片品村条例等の制定・一部改正・変更・廃止について

「都市との交流を進める特別委員会」報告

◆経過及び意見

本委員会は、平成25年5月31日に開催した、議会と区長との懇談会で、区長会から「片品村の活性化に向けて議会の中に専門の委員会を設置し、専門家の意見を聞くこと、先進事例の調査研究を進めるなどして、何とか片品村が元気になる方向を見いだしてほしい」という要望が出され検討を重ねた結果、片品村の活性化のためには「都市との交流」が最重要課題だと認識をしたところから始まりました。

片品村では現在、埼玉県蕨市・上尾市・栃木県



日光市・福島市南相馬市・茨城県大洗町の4市1町と災害時の応援協定等を結んでいます。そのほか、埼玉県川口市・東京都練馬区・神奈川県藤沢市なども交流があります。現在交流している自治体との交流をさらに進め、都市との交流促進について総合的に調査検討及び提言を行うことを付議事件として、9月13日に「都市との交流を進める特別委員会」が設置されました。

以来、これらの付議事件に関し、都市との交流を地域の活性化に結びつけていくための対策をはじめとする多くの活発な議論が行われました。

また、11月には東京都目黒区議会・品川区議会を視察し、災害応援の関係づくりのきっかけについて、文化・教育交流について、健康・安全等に関する生活の質の向上について意見交換を行いました。

今後の交流を進めるために次のようなアドバイスを受けました。

- 1 まずは議会及び住民同士の交流から始めるのが良い。
- 2 区内で開催されるイベント等に参加し、片品村の特産物を販売する

などして、片品村の事を区民に知ってもらうとともに住民同士の交流の場を設ける必要がある。

そして目黒区議会及び目黒区役所のご理解をいただき、平成26年9月14日、目黒区で毎年開催される「一大イベント」目黒区民まつりに参加しました。観光農業の目玉であるトマトとトウモロコシの販売を通じ、片品村及び冬季国体のPR等を実施しました。当日は約3万人の方が訪れ大いに賑わう中、片品村と目黒区との交流の第一歩として大きな成果が得られました。

入澤議員全国表彰

入澤登喜夫議員が「議会議員15年以上在職者」ということで、2月6日に全国町村議会議長会から表彰されました。

また、2月18日には、群馬県知事から感謝状が贈呈されました。



◆結果

本委員会は、これまでの議論、調査等を踏まえ「片品村を住みよく、活力のある尾瀬の郷にするために、目黒区との交流を促進し、近い将来には「友好都市協定」が結べるように、今後も全議員で行政と連携して村民とともに知恵と力を出し合っ

て努力して行くこと」を全会一致で決定しました。

(委員長 入澤登喜夫)



村政を問う!

一般質問



星野 千里 議員

一、地方創生について

問 国の地方創生プランによる片品村の支援はどうか。

答 (村長)

消費喚起型と地方創生先行型の2つあります。消費喚起型は国からの交付金1,100万円余りに村の一般財源から200万円余りを追加して村民向けプレミアム付き

商品券発行と村外旅行者向け得々旅行券発行事業を計画しています。

村内に6,500万円余りの消費を喚起し、経済対策に大きな効果が期待されます。

地方創生先行型は国から交付金2,900万円余りが交付され主にソフト事業を計画しています。内容としては、総合戦略及び人口ビジョン策定事業、農林業活性化推進事業、外国人観光客誘致促進事業などです。

問 全体の長期展望は。

答 (村長)

総合戦略計画は平成27

Q 国の地方創生支援で片品村はどうなる？

A 村内に6千4百万円の消費喚起と2千9百万円のソフト事業を計画

年開始、5年間でこれまで進めてきたシンボルプロジェクト事業とも重なっている。総合計画の基本構想や前期基本計画と整合性を図り、5年後10年後を見据えて進めていきたい。

問 森林資源を活用した施設整備など総合戦略に入れるべきと思いますが。

答 (村長)

可能な限り活用したい。9割以上が森林であり、価値の再認識と林業の活性化等に必要と感じています。

二、村の活性化への取り組みについて

問 尾瀬の郷駅整備は、花の谷公園から寄居山温泉までの一帯と捉えてよいか。

答 (村長)

施設と施設を結ぶ面として捉えてほしい。

Q 「尾瀬の郷駅」の拠点施設の内容は？

A 29年度完成をめざす直売と交流と情報発信の複合的拠点と考えたい

問 拠点施設の内容はどのようなか。

答 (村長)

単なる農産物の直売場ではなく、住民や観光客などにとって交流の場であり、情報発信の拠点であるなどタウン的な複合的な村の拠点として考えている。平成29年度には完成を目指したい。

問 公民館や児童館の建て替え計画と(仮称)尾瀬の郷駅整備計画の関係及び進捗状況を聞きたい。

答 (村長)

その区域にある教育委員会や公民館、児童館、社会福祉協議会、図書館、文化センター、さらには駐車場など、一体的に考えていかなければならぬ

と思うので、調査検討を行い最も効果的な施設整備を進めていきたい。

要望

拠点施設や児童館の整備、中学校建設等の際には是非地元森林資源を活用し、期間的に賄いきれない時には県内の森林資源を活用していただきたい。





星野 精一 議員

一、村営図書室のバーコード化・デジタル化について

問 貸し出しが実名をカードに書き込む方式をとっているが、認識を聞きたい。

答 (教育長) 貸し出し利用が少ない状況なのでカード式で行っている。

問 図書館協会宣言文3章で利用者の秘密を守るとある。個人情報、プライバシーを尊重する時代において実名記入方式は認識が遅れていると思うが、いかがか。

答 (教育長) 利用効率、費用対効果を踏まえた運用をしなければなりません。個人のプライバシーも配慮しなければならぬと考えますので、検討させていただきます。



手作りの愛情あふれる図書室

二、一学年一学級への対応について

問 数年先には一学年一学級が定常化するが教育長の認識を聞きたい。

答 (教育長)

一学級によるデメリットは、9年間を通してクラス替えが実施されないことだと認識しています。群馬県においては教員配置に関して定数以上の配置を実施しております。また村でもマイタウンティーチャーを雇用しクラス内を別々に分けて少人数の指導などを行っています。少人数指導の利点をしっかりと生かして学力並びに生活力の向上に努めています。

問 他の学校と交流することによって流動性を持たせるといふことは予定しているか。

答 (教育長)

現在は計画していませんが、問題あるいは改善をする必要が生じた場合は検討したいと考えます。

三、子どもたちが安全にインターネットと関わるための対応について

問 子どもたちが安全にインターネットに関わるため

Q ほっこりの湯が65歳以上にパスポート発行したら役立つのでは？

A 発行した場合、経営は赤字で補っても考えなければならぬ

の対応について認識を聞きたい。

答 (教育長)

入学説明会や保護者会等において利用について注意を喚起するとともに、警察関係者等を招いての説明会、担任の教師による危険性の紹介などを行っています。

問 携帯の学校での規制の有無は。

答 (教育長)

学校内への持ち込みは禁止しています。

問 保有率の把握等はしているか。

答 (教育長)

学校内への持ち込み禁止ということで、それ以上の調査は行っていません。

四、ほっこりの湯パスポート発行について



高齢者の憩いの場所ほっこりの湯

討議しました

総務文教常任委員会

協議事項

一、陳情について

【第2号】

年金引下げの流れを止めることを国に求める陳情書

意見

公的年金制度は、長期化する老後生活の所得を保障し、高齢者の生活を支えていくことを大きな使命としている。しかし、年々支給金額が減少し続け、経済的に大変厳しい生活を強いられている高齢者も多いのが現状である。安心して高齢期を送れるようにすることが国や地方自治体にとって最も重要な課題であることから、陳情の趣旨を理解し、全員賛成で採択とする。

二、平成27年度予算について

問 スクールバスの購入代についての説明は。

答(教育委員会事務局長)

26人乗りと29人乗りを予定しており、購入台数は11

台を予定しています。補助基準に照らし合わせ、11台中9台は補助金が見込めるという予算計上をしております。

問 教育費、中学校管理費の事業委託料の内容と中学校の設計の進捗状況は。

答(教育委員会事務局長)

現在、基本設計を進めています。基本設計を進めていますが、できるだけ木造でという指示を受けていますので、その方向で設計業者と検討をしているところです。新年度に設計業者を決める入札ができるよう準備を整えています。

問 文化財の保護活動事業における永井紺周郎の伝習所の保存等で決まったことは。

答(教育委員会事務局長)

千客万来事業の補助金が最大で500万円。これは2分の1補助ですから、事業費は1,100万円ほどです。内訳は、案内看板の製作委託、資料の調査、整理の委託料で200万円、建物修復の補助金で900万円です。

三、所管事務について

問 利根沼田で電算事務を共同処理しコスト削減する計画はあるか。

答(総務課長)

吾妻地区の例などを参考に利根沼田広域圏で勉強を始めたところです。

問 空き家が増え、防災面での心配があるが村内の空き家の把握はしているか。

答(総務課長)

空き家の把握はしていませんが、防災面などからも今後検討いたします。

問 税の公平性・透明性からして、固定資産税滞納への次の措置は何ですか。

答(住民課長)

関係機関と一緒に考えています。

(委員 梅澤志洋)



総務文教常任委員

委員が慎重に

観光産業常任委員会

協議事項

一、陳情について

【第1号】

「スノーパル・オグナほか」第3クワッドリフトの撤去に関する陳情書

意見

老朽化による危険性やイメージダウンなどが懸念されるので、第3クワッドリフトについては早急に撤去すべきであるという意見で、陳情の趣旨を理解し、全員賛成で採択とする。



オグナほか第3クワッドリフト

二、平成27年度予算について

問 地域おこし協力隊の具体的内容について聞きたい。

答（副村長）

平成27年度事業で4人募集したのでモニターツアーを先行実施したところ、バス1台、一泊二日に来て頂き、意見交換をしました。一緒に地域にとけ込みながら、片品村のいろいろな活動に参加していただけるよう計画しています。

三、所管事務について

問 空き家の把握はしているか。

答（むらづくり観光課長補佐）

村全体を考えた場合、把握はできていない状況です。地方創生の交付金事業を活用して空き家を調査する予定です。

問 シンボルプロジェクトの進捗状況は。

答（副村長）

農業と観光を一緒にしたものを活用して若い人

たちを雇用できるような、全村的にやっつけていこうというのが一つ目。二つ目は、片品村の情報発信をするために村中心地に道の駅のようなものをつくりたいということ、検討しています。ソフト部分に力を入れ、住民の協力を得て、いろいろと進めているところです。

ワンポイント解説

空き家対策特別措置法の基本指針（骨子）によると、
 ▽空き家の目安は「一年間を通して使用されていない」こと。
 ▽空き家のうち倒壊の危険など著しく迷惑をかける恐れのあるものを「特定空き家」という。具体的基準は五月の全面実施までに国が別途、定める。
 ▽所有者の責任で維持することが前提。経済的事情などで難しい場合は、市区町村が対応する。

提案2

平成26年、総務省公表では全国で820万戸、7軒に1軒が空き家である。相続、犯罪の温床、倒壊の危険など問題が生ずる前に実態調査が必要だ。

（委員長 星野精一）

提案1

インバウンド対策であるが二セコヒラフ地区の不動産所有者は、約八割が不在外国人であり、街灯の電気代にも事欠く状況だという。成功例だけを参考にせず戦略性を持って進めるべきだ。



観光産業常任委員

第70回国民体育大会



国体応援



～冬季大会スキー競技会 in 片品村～

片品村議会は、2月20日（金）から23日（月）までの4日間、2015ぐんま冬国体が愛称の「第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会（in 片品村）」の会場等を視察ならびに応援観戦して回りました。

特に、武尊山を背に、これ以上は期待でないという好天に恵まれた尾瀬ほたか高原スポーツパーク・クロスカントリーコース。まさに天空のクロカン競技となりました。たくさんの観戦者がリフト利用をしながら詰めかけ、各県が応援合戦を繰り広げていたのを目の当たりにしました。

一年前の冷え込んだ全中スキー競技会とは様変わりのおよげな陽気のクロカン競技、逆にスキー板のワックス選択に気を使わざるを得ない監督の腕の見せ所の試合となったことでしょう。

今大会は、優勝者を含め、群馬県選手の大活躍がみられ、監督やスキー関係者は勿論、多くの群馬県人の喜びとなりました。中でも、片品出身選手の活躍には目を見張るものがありました。スキー自治体である片品村の面目が保たれ、応援のし甲斐がありました。

また、応援観戦したジャイアントスラトーム会場の四季の森ホワイトワールド尾瀬岩鞍と隣接する片品シャンツェのジャンプ競技とも、これまた好天過ぎたことで、観戦者には好都合だったが、関係者にとってはその台整備に苦労したようでした。

先の尾瀬国体から早9年、第三回目の片品村開催。国体開会式・閉会式の簡素化の流れの中、20日、開会式会場となった片品村文化センター。その広場では片品の特色を生かしたおもてなしが展開されました。

そこで、地元婦人会による舞茸汁などのおもてなしに、次回開催地の岩手県のテレビリポーターは、岩手には今一つ住民の盛り上がり欠ける中、なぜ片品村の皆さんがこんなにも熱心に行けるのかと感動していました。

なお、議会としては、国体宣伝のポロシャツとぐんまちゃん刺繍のネクタイを開催2か月以上前から、議員が村内外で何度も着用することで、国体の盛り上がりの一助となるよう努めました。

（戸丸廣安 記）

片品村婦人会との意見交換会



片品村議会は、1月29日（木）、婦人会との意見交換会を持ちました。婦人会からの要望で行われた、ずっと無かったこの種の会合には、17名の婦人会の代表者が参加しました。

2時間という限定的なものでしたが、意見や議論が続出、終わってみれば、まさに時間の足りない、中身の濃いそして収穫の多い話し合いの場となりました。

飯塚議長は、こうした交流の場が持てたことが貴重であり有意義であることを強調し、一方、金子婦人会会長はこのような意見交換の場が持てたことに感謝を表明されました。

婦人会としては、婦人会活動の現状と会員減少の背景を、村民を代表する立場にある議員の皆様にも少しでも理解して頂けたとして、好意的な表明がなされ、今後もこのような場を持てたらという期待と要望が両者からありました。

そこにおいて何か解決することではなかったものの、議員側からの意見として、婦人会はもう少し行事や仕事を減らすことも良いのではとの提案がなされたことを受けて、それを参考に、婦人会の改革に取り組んでいきたいとしていました。

（戸丸廣安 記）

村民の声



大竹 三沙緒 さん
(菅沼)

～～ 議会を傍聴して思うこと ～～

【一般質問の傍聴について】

今回の議会は、いつもの10時始まりでなく9時始まりだったので、他の人もそうだったようですが、私も遅刻し、一般質問の大半を聞き逃してしまいました。

【予算について】

広報かたしなや議会だよりを克明に読めば理解できることなのでしょうが、単年度で予算額44億円と聞いてもよくわかりません。村の人口は減っているのに、十年前は30数億円で、十年間でこう増えることが理解できません。私は婦人会や生活研究グループで活動していますが、補助金は毎年減っているのに、村全体の執行金額が増えているのはなぜですか。

【村づくりについて】

観光と農業が主産業の村ですから、観光に力を入れるのは当然ですが、私の周りには村を気に入って転居して来ている若い世代が何人もいます。私自身県外から嫁に来た者として、村を気に入って住んでくれる人を大事にしたいものです。よそから来る人たちには、人と人の関わり合いが濃い分、煩わしく、お節介を感じることも、また村付き合いの難しさもあるでしょう。村民の皆さんには温かい目で彼らを受け入れてほしいです。



公民館図書室で絵本の読み聞かせをしています。
毎週月曜日2時からです。



須藤 栄 さん
(東小川)

～～ 議会に期待すること ～～

Q：議会だよりを読んでいますか？

A：読んでいます。一生懸命に一般質問している人がいて、心強いです。質問している人は決まっているような感じがしますが、村内のいろんなことについて質問が及んでいて良いです。質問によって他地域の課題も分かりますので。

Q：要望は？

A：みんなが議会だよりを読みたくなるような紙面づくりをお願いします。絵やグラフを入れたりすることで、今後村がどういうふうに変更されるのかという見通しが分かるので。鎌田の中心市街地についていえば、シャッター通りのような家屋が多くなっています。今後どうするのか。鎌田が片品村内に入って来た時に受ける代表的な印象ですから、そこがシャッター通りのようなのでは、やっぱり村全体がさびれた印象を受けてしまう。それをどう議会が村が持つて行こうとしているのか、それを書いてもらえれば、村民として、将来に希望が持てます。

それは鎌田に限ったことではなく、他の地域でもあることです。高齢化が進んでいます。それには若い人をもっと呼び込まないといけないでしょう。

片品の魅力を知って片品に住みたいといって移り住んでくる人は凄く増えています。彼らを定着させる方策が必要です。住むための家を探すのが大変なのです。村のHPにも空き家バンクナビがありますけど、物件が少ない。不動産会社のように、HPを開いたら地区ごとにどういう借家があるとか、一目で分かるように物件の掘り起こしがあれば、片品に若い人が入ってくると思います。そうすれば、小さい子どもたちも増えるし、村が活性化して高齢化率が低い村になる可能性があります。

Q：村が率先すべき課題は？

A：若い人たちに対する支援策とか、農業をやりたい人に対する窓口があったらいいですね。素人にも農業を教えてやろうという制度と土地が必要です。どういう家を貸してもらえるのか、また農地を斡旋する制度があれば、本格的に農業をやりたい人ばかりではなくて、土日農業をやりたい人も取り込めます。自分で植えて育てて自分で料理して食べたい人が増えています。作物の育て方を教える農業学校を作って貰いたい。5回コースとか、三か月コースとかで良いのです。ジャガイモをどうやって植えたらいいいのか、それすら分からないというのですから。そういう学校を利用したいという人が結構いると思います。そのための「先生」は村にはたくさんいます。何時に役場に集合するとか、一回1,000円から2,000円あるいは5,000円でも良いでしょうから。知っている方が教えるという気楽なのが良いのです。そうすれば年配者も活性化し、耕作地の活性化にも村の活性化にもなります。

Q：それで、議会のできることは？

A：議会の役割は議員が各地区から出ているわけですから、各地区において責任をもって課題を掘り起こしてもらい、掘り起こしたものを役場の担当者に伝えて、そして議会広報としての役目を果たしてもらいたいのです。

議会活動日誌

1月

- 21日 第49回冬季交歓会受入れ式
- 29日 議会運営委員会
- 〃 議会全員協議会
- 〃 第1回議会臨時会
- 〃 婦人会との意見交換会

2月

- 3日 片品村誌発刊記念祝賀会
- 9日 利根東部衛生施設組合臨時会
- 17日 片品村の上下水道、学校給食センター、観光施設事業、国保、介護保険の各協議会（委員会）
- 20日～23日 第70回冬季国体スキー競技会
in 片品村
- 25日 議会運営委員会
- 〃 議会全員協議会
- 〃 議員会

3月

- 5日 第2回議会定例会開会
- 〃 議会全員協議会（補正・当初予算説明会）
- 6日 議会全員協議会（当初予算説明会）
- 〃 都市との交流を進める特別委員会
- 〃 第1回議会広報編集特別委員会
- 11日 総務文教常任委員会
- 〃 観光産業常任委員会
- 13日 片品中学校卒業証書授与式
- 〃 第2回議会定例会閉会
- 〃 第2回議会広報編集特別委員会
- 23日 国道120号金精道路除雪状況調査
- 25日 各小学校卒業証書授与式
- 〃 社会福祉協議会理事会・評議委員会
- 27日 各保育所卒園式
- 〃 尾瀬文学賞俳句大会実行委員会総会
- 30日 国体実行委員会総会
- 〃 第3回議会広報編集特別委員会

4月

- 3日 各保育所入園式
- 4日 塗川橋開通式
- 〃 第4回議会広報編集特別委員会
- 6日 区長・区長代理・組長会議
- 7日 各小学校入学式
- 〃 片品中学校入学式

発行 片品村議会

責任者 飯塚 高明 編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)



●議会広報編集特別委員会●

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
梅澤	千明	入澤	星野	飯塚	星野	戸丸
志洋	道太	登喜夫	精一	美明	千里	廣安

○傍聴のお知らせ

6月議会を傍聴しませんか！ 次回定例会は、6月5日（金）の予定です。一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答（全文）は片品村公式ホームページ（HP）にて閲覧できます。HP掲載写真はフルカラーです。 URL <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

表紙の写真が語るとおり、国体では片品出身のスキー選手が大活躍して下さり、ありがとうございます。どの選手が表紙を飾るべきか悩みましたが、こうなりました。国体やインターハイや全中という全国スキー大会を受け入れ続ける片品村には、それと村民協働が不可欠なことが確認できました。その為には、財政が伴った村民力の維持が欠かせないでしょう。元氣な村のためには、空き家対策や若者移住への工夫を農業面を含め、お願いしたいというのが「村民の声」欄となりました。議会による「都市との交流」は始まったばかり、説得力を増せるのか、執行部との連携も、村民は今後を注視しているでしょう。「委員長」との愛称で呼ばれ、四年間リードしてきたこの特別委員会。議会だよりが一定の成果を挙げたと言ってお下さるのなら、安堵の気持ちです。称賛は、交互に編集委員を務めた全員（特に3人の固定編集委員）に向けてください。読者の皆様、誠にありがとうございました。

【議会広報編集特別委員会 委員長 戸丸 廣安】

編集後記